

N A S 速報 No. 280

2025年8月29日発行 NPO法人長崎県天文協会

NAGASAKI ASTRONOMICAL SOCIETY



弓張岳から見た H2A ロケット最終号機打上

2025年6月29日01:33:46-01:36:24 2450mm (F1.4を4に絞る)+NikonD810A (ISO3200)
1秒おきに1/1.6秒露出した160コマ比較明合成 佐世保市弓張岳山頂展望台 松本直弥

H2Aロケット最終号機は打上に成功し、有終の美を飾りました。打上予定時刻の35分前頃に弓張岳の山頂展望台へ着くと、既に良い場所には4~5組の人たちが陣取っていたので、一段低い通路で撮影しました。打上時にはギャラリーは20人ほどになりましたが、半分以上はたまたま展望台に来て、ロケットの打上を知ったようでした。しかし、以前は私一人で見守っていたのに、ずいぶん様変わりです。

打上は予定通りの時刻に行われ、地平からの立ち上がりは明るかったのですが、打上方向が南寄りだったようで、いつもより早く暗くなりました。写真には途中でプースターが切り離され落下する様子も写っています。撮影していた人たちは、みなさん初めて見たそうで、「本当に見えるんですね〜」「感激しました！」と感想を話されていました。(松本)

★サハラ砂漠で見つかった二つの隕石、水星から飛来か

(CNN. co. jp)

研究者らは、2023年にサハラ砂漠で発見された2つの隕石（いんせき）が、水星由来のものではないかと推測している。もしそうであれば、これらの隕石は初めて確認される水星の破片ということになる。

太陽系の岩石惑星の中で最も研究が進んでおらず、謎に包まれている水星は太陽に非常に近いため、探査機でさえ調査は難しい。これまでに水星を訪れた無人探査機は1973年に打ち上げられたマリナー10号と、2004年に打ち上げられたメッセンジャーの2機のみ。3機目のベピコロンボは現在航行中で、2026年後半には水星の周回軌道に乗る見通しだ。水星の地質や組成についてはほとんど何も分かっていない。

2023年に発見された二つの隕石（北西アフリカ15915とクサル・ギラーヌ022と命名されている）について水星起源であることが確認されれば、水星への理解は大きく深まる。しかし、ライダー・ストークス氏は、これらの隕石と、水星について知られていることにはいくつかの矛盾があると強調している。最大の問題は、これらの破片が水星の表面よりも5億年ほど前に形成されたように見えることだ。ただし、ライダー・ストークス氏によると、この発見は不正確な推定に基づいている可能性があり、明確な評価は難しい。一方で、これらの隕石の組成には、水星との関連を示唆する手がかりも複数ある。

（水星起源の兆候）既知の隕石が水星と関連付けられるのは今回が初めてではない。これまで最も有力視されていたのは、2012年初頭にモロッコ南部で発見されたとされる「北西アフリカ7325」と呼ばれる破片だった。しかし、のちの分析で、この隕石はクロムの含有量が多く、予測される水星の表面組成とは矛盾することが明らかになった。

最近では、1836年にフランス・オーブルに落下した小さな隕石に由来する「オーブライト」と呼ばれる分類の隕石が水星のマンテルから飛来した可能性を示唆している。しかし、これらの隕石は、水星の表面について知られている化学的性質と適合性がない。ライダー・ストークス氏はこう指摘する。「私たちが研究した試料の非常に興味深い点はまさに、水星の見本と言えるほど完璧な化学的性質を持っているところだ」

今回の研究でライダー・ストークス氏が電子顕微鏡を含む複数の機器を用いて分析した二つの隕石には2種類の鉱物、カンラン石と輝石が含まれている。これらの鉱物は米航空宇宙局NASAのメッセンジャー探査機によって水星に存在することが確認されている。しかし、最大の不確実性は、依然として隕石の年代だ。隕石は約45億年前のものである一方、水星の表面の大部分は約40億年前のものだ。つまり5億年の差がある。ライダー・ストークス氏は、この食い違いについて、隕石が水星起源であることを否定する十分な根拠にはならないと考えている。水星表層の年代推定にも利用されているメッセンジャーのデータの信頼性が限定的であるためだ。欧州宇宙機関ESAの探査機ベピコロンボは、2027年初頭に水星の探査を開始する見通し。最新の機器による探査で、水星の形成場所や水の有無など、長年の疑問が解明されるかもしれない。

ライダー・ストークス氏は、物質が他の惑星由来であることが確認されることは、初期太陽系の構成要素の性質を理解するのに役立つと語る。水星から試料を採取して持ち帰るミッションは非常に困難で費用もかかるため、水星の破片を特定することは特に重要だと指摘した。



2023年にサハラ砂漠で発見された隕石クサル・ギラーヌ022/Jared Collins

★ 8月19日深夜 九州南海上に大火球出現

19日午後11時8分ごろ、九州各地を中心に大火球が出現し、各地の定点カメラ、ドライブレコーダーなどに記録された。鹿児島県の桜島を定点観測するカメラ映像では、一瞬、昼間のような明るさになった。

平塚市博物館で天文担当の学芸員を務める藤井大地さんによると、今回のような明るい大火球は「数年に一度」。2013年にロシア、チェリャビンスク州に隕石が落下した時には及ばないものの、「かなり明るかった」という。

「火球は、質量と速度のいずれかが大きいと明るくなります。今回は速度は21km/秒程度と一般的な流れ星(11~71km/秒)に比べると“ゆっくり”なほうなので、隕石が大きかったと分かります」。

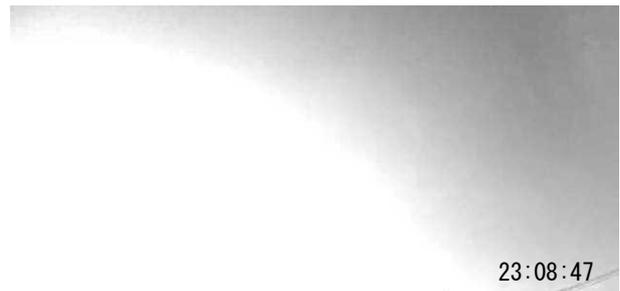
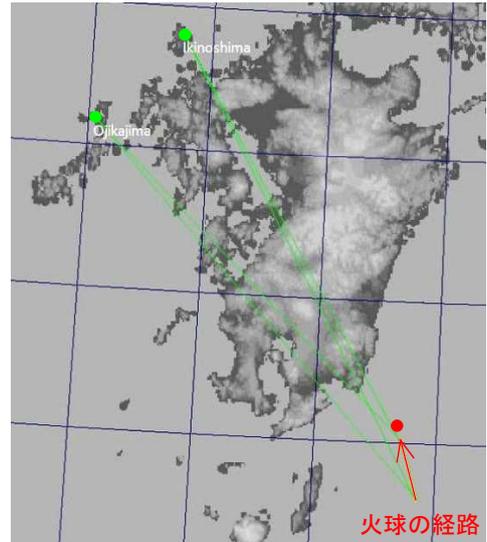
藤井さんは、長崎県の壱岐市と小値賀島に設置されているライブカメラの映像から、三角測量を応用して火球の軌跡を割り出した。それによると、火球は種子島の北東沖を流れ、高度18km程度で消失。隕石として宮崎県の南東の海に落下したもようだ。「多くの場合は大気圏で燃え尽きますが、地上に落下するものは高度20kmあたりで光り終わります。今回は消失点高度が18km程度だったため、隕石として海上に落下したとみています」。鹿児島で目撃した人の中には音を聞いたという声もあった。鹿児島地方気象台では光が確認された約8分後の午後11時16分頃、空気の振動、「空振」が確認されたという。

19日午後11時8分に九州などで目撃された火球について、NASAが火球の分析を公開しているサイトによると、日本周辺で確認された火球としては1988年の統計開始以来、最大規模だったことがわかった。同サイトによると、今回の火球は1.6ktのエネルギーを持っていたという。広島型原爆(16kt)の10分の1になる。同サイトが記録した地点は、大隅半島の南東約80kmの海上だった。

(ITmediaNEWS8.20, 朝日新聞8.20, 24などより)

(右) 森山雅行さんのライブカメラ(動画)から切り出した火球の画像

急速に明るさを増し、画面全体が飽和状態となった。出現方位は南東(南から40° 東)



★月の会からのメッセージ

★ 日本の行事

田中千鶴（月の会代表）

7月8月は、夏祭りとお盆行事で忙しい時期。しかも戦後80年の節目、ご縁のある海軍墓地（月の会名誉会員池田武邦氏関連資料、軍艦矢矧慰霊碑）のお盆供養日の8月14日に宮崎さんと二人で参列。福田佐世保地方総監、宮島市長、議員さん達も参列。みなさまから届いた英霊へのメッセージなどを白い短冊に書いて笹飾りに。海軍墓地保存会の皆さまにも喜んで頂き、地元のテレビ局も短冊の話題も交え放送して下さいました。市民参加の恒例行事になるよう願っております。短期間ではありましたが、50枚程集まり、ご協力下さいました皆さま有難うございました。

恒例行事と成りました須佐神社（賛助会員）祇園祭も今回、茅の輪作りにも参加し、階段上の神殿前の茅の輪迄行けない方の為に月の会ブースの前にも茅の輪くぐりが出来るように設置。今年入会の坂上さんの畑の茅を運んで、作業にもご協力下さいました。私も初体験でした。巫女装束姿の月の会乙女（元乙女も）達の呼び掛けも効を成し、例年の3倍近くの茅の輪くぐりをされました。りんごさん、なずなさん、唯愛さん、平石さん有難うございました。また、初登場の射的遊びに行列が出来て宮崎さん中心に大奮闘、桜さん、夫津木さん、松田さん、久松さん、河野さん、根本さん、山口さん、大変お疲れ様でした。

私事ですが、総会でも紹介がありましたように、松本会長の推薦により佐世保市少年科学館運営委員会委員を委嘱されました。身が引き締まります。委嘱状を渡されました陣内教育長は、34年前の長女の小学校の担任でお世話になっておりました。覚えて下さってまして「変わられてませんね～」の一言で「頑張りますね！」と。（笑）天文普及、誘引活動頑張ってまいりたいと思いますのでご協力宜しくお願い申し上げます_(..)_



8.14 海軍墓地式典会場入口の笹短冊

★須佐神社稲荷社奉納 渡邊大治（諫早市）

今回、田中千鶴氏の紹介で佐世保市祇園町にある神社に社を奉納することができました。お社とは少しオーバーな表現で、街中でよく見かける地藏さまが祀ってある小さな住居のようなものです。3月に一念発起して作製を決意し、それ以来通勤経路にある地藏社を観察して構想を立てました。幸いにも私の実家には、亡き父が遺した日曜大工道具があり、諫早まで持ち込んで作成に勤しみました。



7.19 左端が渡邊、バックの赤塗りが奉納した社

稲荷神社は、その名の如く稲を祀った大陸由来の神社であると記されています。私自身も稲の研究に従事してきた身であったので、この社に奉納する事は、稲荷神社の神様から導かれたものと感謝しています。今後、稲荷神と遣いの狐様によって、永年県北地域の水稻生育障害、フェーン風で枯れる症状に悩まされた地域を守って頂けると信じております。

（※フェーンによる生育障害に興味がある方は、フェーン、水稻生育障害、長崎県北地帯、渡邊大治と検索すると論文が出てきます。）

★奮闘の夏祭り

石橋 桜(佐世保市)

今年もこの季節がやって参りました。子供達が小さかった頃は、夜遅くて少ししか参加出来なかった須佐神社夏まつり。いつの間にか月の会で参加するようになり、町内会の役員でも参加するようになり、1ヶ月前の準備から家族でじっくりお手伝いさせて頂くようになりました。今年も提灯貼りを家族総出でお手伝い。3年目ともなれば大分上手くなってきました。翌週は提灯の名前書き。一燈千円のご寄付を頂いた皆様のお名前を、心を込めて書かせて頂きました。

今回の夏まつりは、娘二人が巫女装束で皆様をお迎えしました。照れながら一生懸命お詣りの案内をする事が出来ました。毎年恒例になってきたバンドの演奏は、浴衣に早着替えて登場しました。今年は娘二人共吹奏楽部に入部したので、二人でトランペットとフルートの演奏も披露する事が出来ました。年を追うごとに立派になっていく須佐神社夏まつり。月の会の面々がお手伝い下さって、毎年どんどん良いものになっていくのを見るのがとても楽しみです♪

お盆休みは悪天候で、周りの人達に心配されながら、今年も星野村にキャンプに行ってきました。流星群観測会は中止になってしまいましたが、大雨は降らず、家族でキャンプを楽しむ事が出来ました♪ 今年の娘の自由研究は、キャンプの時に出土した灰で、焼き物の釉薬を作ってみようという奮闘中です。上手く行くことを願って頑張ります！



7.25 巫女姿の石橋姉妹

★須佐神社夏祭り

平石真由美(長崎市)

7月25日、26日に行われました須佐神社の夏祭りへ孫と一緒に参加させていただきました。今回は巫女衣装を身にまとった孫と私は茅の輪くぐりのご案内と、参拝して下さった方へ対馬由来の神米赤米お配りする大役を任せさせていただきました。五年生の孫は、参拝に来られた方々へ物怖じする事なく、茅の輪くぐりのやり方や、赤米の説明を丁寧に伝えていました。色々な行事に参加させていただき、月の会の皆様に育ててもらっている有り難さ。本当に感謝です。本人もやり遂げた満足感と自信に満ち溢れた表情。私も孫の頼もしい一面が見れ、想い出に残る夏祭りでした。

参加させていただきありがとうございました。私は一日だけのお手伝いでしたが、千鶴さんをはじめ月の会の皆様、連日本当にお疲れ様でした。



7.26 茅の輪の前で孫と

★祇園祭

松田潤子(佐世保市)

7月23日に人生初めての茅の輪作りのお手伝いを須佐神社でしました。小さい茅の輪も作り持ち帰りました。25日26日には、須佐神社の祇園祭に、夕方5時から2時間半のお手伝いをさせて頂きました。全て人生初の体験でした。この年になって(73歳)新しい体験が出来ると感動しかありません。出店の射的に、一喜一憂する若者たちの歓声に、こちらまで笑い声をあげてしまいました。新しい体験をありがとうございます。

★祇園祭で巫女に 田中初音(佐世保市)

須佐神社は、私が小学生の頃からお世話になっている、地元の神社です。よく、お友達と大きな赤い鳥居の上まで石を投げ、願いをかけていました。今またこうして、我が子たちを連れ、須佐神社にご縁を持ち、祇園祭のお手伝いをさせていただけたこと、とても光栄でした。住まいは違えど、心は氏子です。地域の垣根を越えて、氏子の活動をしていき、地域発展に繋がるといいなと、我が子たちの将来を想いながら、感じました。これからもできることをできる時に、ぜひ参加させていただきます。

7.26 須佐神社の茅の輪 左が田中、右は絵美さん→



★須佐神社の祇園祭のお手伝い 夫津木節子(佐世保市)

須佐神社の祇園祭の手伝いも、初めての経験！ 7月25日と26日の2日間、夕方5時から参加して笹の葉に短冊を飾り、月の会での出し物は、射的！とクジ引き。かなりの子供たちが遊びに来てくれました。今年の異常な暑さで立ってるだけでも汗！汗！そんな中、須佐神社の祇園祭という伝統ある行事を、若い世代に引き継いでいこうという思いの、月の会の代表の千鶴さんの姿に動かされ、微力ながら、お手伝いさせていただきました。須佐神社の祇園祭の茅の輪くぐりや楽しい思い出は、今の子供たちの心にも、いつまでも残ると思うと、優しい気持ちになりました。

★神事に興味湧く 坂上次郎(佐世保市)

茅の輪に使う茅(かや)を刈り取る場所から携わらせていただきました。腕や手に付いた傷がお風呂に入り、しみてピリピリ傷んだ時に不思議な感覚になりました。神事と人間心理、精神の関わりに興味湧く機会となりました。

写真：7月23日。材料の茅を自分の畑から刈取り持参し、神社敷地で作り設置後の写真
左から坂上、桜、町田宮司、千鶴、松田さん



★須佐神社祇園祭に参加 宮崎千鶴子(佐世保市)

去年は孫連れで見物だけの祇園祭でしたが、今年は射的の屋台当番を仰せつかり、楽しい2日間でした。浴衣は暑すぎると思い、自作の作務衣で助かりました。蒸し暑いのと混雑で汗だくの商売(笑売)。同じ子が何度も来てくれたり、大人も子供も楽しんでくれました。射的ってみんなが楽しめる遊びなのですね。祭りにあまり馴染みがなくわかりませんでした。四苦八苦しながら店じまいするまでお客さんは来てくれて、



7.25 祇園祭の射的会場にて 左が宮崎

うれしい悲鳴をあげました。2日目にやっと茅の輪くぐりもすませ、来年のやり方に思いを馳せながら祭りは無事終わりました。

★子どもたちの田植え

桑原とも子(熊本市)

6月、田んぼで泥んこ遊びを楽しんだ保育園と幼稚園の子どもたちが、10日後こんどは田植え体験に来てくれました。息子から「お絵描きするような気持ちで好きな所に植えてください」の声かけでスタート。ぐるぐる慣れた手つきで植えていく子ども、井戸端会議のように3人で座り込んでお話ししながら、でも手は動かしていたり、泥んこ遊びを始める子どもたちもいたり、各々の子どもたちの個性が見えて大人たちも楽しい。子どもたちの集中力はあつという間に終わりがきました。田植えの時間を子どもたちはとても楽しんでくれました。テント内に昨年収穫した赤米の穂を下げていましたら、その下に子どもたちが集まっていた、1人のお友だちが「この中にお米が入るとぞー」と隣のお友だちに話していました。次は稲刈り。何かを肌で感じとってくれたら嬉しいです。



6.26 田植えの後で 右端が桑原

★お茶で平和活動

柳川康代(長崎市)

8月23日、新月の日に千鶴さんから頂いた赤米を入れてご飯を炊きました。先月は閏6月だったのでやっと旧暦の7月。暑さがまだまだ先まであるのがうなずけます。戦後80年、長崎、広島では、原爆記念日に登校日があり、子供たちも何となく戦争の事を知ってると思いますが、語り伝えてくれる人も少なくなり、どうしたものかと考える毎日です。戦地で亡くなられた軍人さん、原爆や空襲で亡くなられた民間人、敵方の軍人さん、多くの犠牲を強いられ、何一つ希望が叶われないで命を失った方々。戦争って誰にとっても良い事は何も無い！でも、そんな方々の犠牲の上に今の暮らしが成り立っているのを忘れてはならないと思います。現在も豊かな暮らしをしている様に見えても、不平不満だらけ！「ありがたい、かたじけない、もったいない」という気持ちを忘れてしまったのでしょうか！

茶道裏千家の大宗匠 千玄室さんが8月14日終戦記念日の前日に102歳でお亡くなりになりました。特攻の生き残りとして、戦友達の分まで平和の為に世界を回り「茶碗は丸い。小さな地球、小宇宙です。その中にあるのはグリーン、緑のお茶です。召し上がる時に、地球に住まわせて頂いて良かった、自然と一体だな、とってください。」と、伝えながら奮闘なされた80年間でした。後年テレビで言っておられた事は、私は平和という言葉が好きではありません！どうしてかと言うと、穏やかで和んで、やわらかい暮らしをしておれば、平和になりたいという気持ちは生まれません、と。私も1度だけ長崎でのお茶会でお目にかかった事があります。忘れずに私達も周りの人達と思いやりと感謝の心を持って暮らしたいと思います(感謝)

(※大宗匠とは、私の義理の父が海軍航空隊同期で話しに聴いておりました。柳川さんのメッセージを懐に入れお茶会の時は、千大宗匠の言葉を伝えて参りたいと思います。千鶴)

★恒例夏祭り

久松晃子(佐世保市)

今年も須佐神社の夏祭り、行ってきました。ゲームコーナーで、子どもたち(たまに大人)が挑戦してるのを楽しんでみました。とても賑やかなお祭りでした。暑い中、準備・片付けは大変だったと思います。お疲れさまでした、ありがとうございました！

★梅干しから大発見！

中倉壮志朗(佐世保市)

先日、梅の天日干しをしました。例年は梅雨明け頃にやっていたのですが、今年はなんだか天候がモヤモヤしていたのでこのタイミングになってしまいました。別に売り物を作っているわけじゃないし、家族で食べる分を家族で楽しみながら作ればイイかと、子どもたちとワイワイ言いながらやりました。一番下の娘が、「もう我慢できないっ」って感じで一個口に放り込むと、娘の顔が梅干しのようにキュッとしくわちやになり、それを見てみんなで笑いました。突然娘が「あれ？梅干しも丸いしザルも丸い。そういえばボールだってリンゴだって卵だって丸い。わたしの好きなものはみんな丸い。お月様も太陽も、自分たちが住んでいるこの地球も丸い。丸いことって大事なんだネ」と大発見をしたように言いました。娘にとっても大切な事を教えてもらった気がしました。



8.19 梅干しの天日干し

★七夕集い

山崎良子(佐賀市)

恒例の友人達との集いに天の川に見立てたソーメンお膳で楽しんだ後、旧暦の七夕祭り(8月29日)のために、みんなで作りました。世界が平和になりますようにと、祈りを込めて。

★少年科学館で楽しむ

田中絵美(佐世保市)

7月18日、星きらりて投影されました「ドラえもん 宇宙の模様」を田中初音さん親子と観に行ってきました。末っ子のせな(2歳)はお留守番してもらい、小3・小1(2人)・年中(2人)の子供5人。5人横に並んで座り、後ろに座った私にもウキウキワクワク感が伝わってきました。上映が始まり、大きな声出さないようにと度々注意してましたがドラえもんのオープニング曲が始まると昴と朔は大声で歌い始めました！！笑。でも投影中でも「大きな栗の木の下で」を歌う可愛い声がどこからか聞こえてきたりと、気を使わず、ほのぼのとした投影時間でした。最後の現在の佐世保市の夜空や夏の星座の説明になると、みんな知ってる星座を指差したり、自分の星座を探したり生き生きした表情をしてました。また皆を誘って行きたいです！



7.18 両田中家の子供たち

★新入会員 田中明美(佐世保市)

峰坂町に住んでおられる宮崎千鶴子さんとの出会いで7月より月の会へ入会させて貰いました。随分前、45年程前になりますでしょうか？子供会の行事の一つで戸尾小学校の校庭で星空観察会がありました(一年に2回) その時迄、本格的な望遠鏡で星を見た事がなかった親子、共々大変感動して、説明を聞いたと記憶しております。月の表面、土星の輪、さそり座等々。会の終り頃「あれは人工衛星です」と言われ、びっくりして空を見上げ、衛星を見送りました。その時説明してお話されたのが松本先生だったと記憶しております。今回月の会に入会したこと、私にとって大きな楽しみです。今後共、どうぞよろしくお願い致します

★会員のページ (メーリングリストより／敬称略)

☆NAS279・会誌No. 17発送(6月27日)

・H2Aロケット最終号機打上(6月29日)

松本直弥(佐世保市) 6月27日 18:56

九州北部を含む西日本は、本日梅雨明けしたとみられる、との発表がありました。今年の梅雨は九州南部の方が沖縄・奄美よりも早く梅雨に入るといふ、異例の形で始まりましたが、6月27日の梅雨明けは平年より22日も早く、1951年の統計開始以降、最も早い記録です。梅雨の期間は19日間で最短。長い長い夏のスタートとなりました。早い梅雨明けで米作りに悪い影響が出ないかと心配です。



6月27日 NAS279発送作業(事務局にて)

さて、事務局一家、松本夫婦に、松本由紀子、宮崎千鶴子、森山雅行さんのご助力を得まして、発送作業を行いました。到着は週明けとなる見込みです。ネット会員の方へは、先ほど送信しました。未着の方はお知らせください。

6月29日 06:32

報道のように、H2Aロケット最終号機は打上に成功し有終の美を飾りました。(以下、表紙参照)

橋 貞幸(長崎市) 6月29日 07:49

久しぶりの夜の打ち上げでしたね。私も長崎市の稲佐山から、赤い噴煙が上昇していくのを堪能できました。

津田純子(久留米市) 6月29日 08:03

最後の打ち上げ、有終の美を飾ることごできて本当に良かったです、素晴らしいですね。次回からはH3にボタンタッチ、今後の日本のロケット開発に貢献してほしいです♪私は寝落ちしてしまい、ライブ中継見損ないました。朝のニュースで見ました。

また、27日の梅雨明け、ビックリしましたね。観測史上、最速との事でしたが、松本さまが言われていたとおり、これからの水不足や米の生育が心配されますね。主婦の私としてはこれ以上米の価格に悩まされたくないですが?! 先週は発送作業お疲れ様でした。時間を割いて携わって頂き、感謝にたえません。ありがとうございました。到着が楽しみです。

藤樫 薫(長与町) 6月29日 12:11

生垣さんと私は南島原市の俵石展望所で撮影に臨みました。天草と有明海が一望できるいい場所です。トイレも綺麗な所で、なかなか賑やか(エンジン音も含めて)でした。数名撮影されていました。連続写真はカメラを向ける方向がズレており、打上げ直後の画像は画角の右下隅でひどく歪んでしまったのが残念です。撮影終了後、隣の方から変な光が写っていると教えていただき、しまい込んだ機材を再度セッティングして撮影すると、。肉眼では確認できない赤色の発光が写りました。慌てていたためピントズレです。明け方の打上げでは、太陽光による彩雲となって美しいロケット雲が見える時がありますが、今回は太陽光は関係ないかなと思います。どなたかこの発光の理屈をお教え願えませんか? 電離層が関係しているのでしょうか。



(共通) Canon EOS-Ra EF24mm f/1.4 L II USM(f/2.5に絞る) IS06400

(左)連続写真: 6.29 01:33:51~36:56 5秒おきに1秒露出 38枚をコンポジット(トリミング)

(右)赤色発光: 6.29 01:46:30 2.8秒露出

6月29日 18:15

赤色の発光の理屈が何となく解決しました。2012年のH2Aの21号機打ち上げ時にも同じような現象が観測され、大騒ぎになっているようです。当時のJAXAの宇宙研のプラズマ研究室は次のように回答しています。

「波長630nm、電離圏F層の酸素原子の発光であると思われる。ロケットの通過によって生じた大気の擾乱(じょうらん)が発光の原因と推測される」とのことでした。オーロラと同じ? 発光現象みたいですね。夜の打ち上げでしか見る? ことができない貴重な現象で、撮影できて幸運でした。

生垣純昌(長与町) 6月29日 20:25

藤樫さんと同じ俵石展望所で撮影したH2Aロケットの軌跡(打ち上げ時の方向ずれの修正、ピントズレあり)の画像処理後と、赤色? 発光の画像(打ち上げ後13分後から16分後までの約1分毎)です。発光現象は肉眼では見えないので、藤樫さんに教えてもらって撮影してみました。私のカメラでは画像処理をしないと、カメラ画面では発光状況は確認できませんでした。

田中千鶴(月の会/佐世保市) 6月30日 00:10

有終の美を飾ってくれたH2Aロケットの軌跡の写真をどうも有難うございました! 私も津田さん同様、寝落ちしてしまい、早朝5時のニュースで確認した次第です。実は、甥っ子がJAXAに勤めており、武雄市にいる従兄弟夫婦が昨日、種子島に向かうフェリーから前を走る車が佐世保ナンバーとのメール受信し打ち上げを知りました。

寝落ちするなんてショック! でも皆さまからの写真に励まされました(笑) また、縁起の良いオーロラのような赤色発光写真まで♪ 従兄弟から打ち上げ動画が入り、お返しに島原、長崎、佐世保からも撮影されていましたよ、と先輩方の画像を転送させていただきました。数年前の種子島旅行で打ち上げ場所や司令室など見学しておりましたので思い出しながら打ち上げ成功を喜びました。

川上正徳(長崎市) 6月30日 23:59

本日第17号受領しました。立派な内容で感激して読んでいます。

(追伸)H2ロケット打ち上げは見に行かれず残念でした。夕食時はノンアルだったのに、一仕

事終えてついウスキーのオンザロックを一飲みしてから、打ち上げ30分前に気づきました。迂闊もいいところで、歩いて唐八景に行く勇気もなくし皆様の画像を拝見しました。打ち上げ成功でよかったですね。こんな調子ですがよろしくお願ひいたします。再見！

山崎良子(月の会/佐賀市) 7月1日 10:04

昨日、会誌、NAS速報、桧山塾のコピーまで届きました。会誌の内容の素晴らしさはもとより、表紙から裏表紙迄カッコ良く、素敵ですね！あまりの内容の充実、ゆっくり拝読させていただきます！取り急ぎ、受け取りの報告まで。小田原、江ノ浦測所の夏至光遥拝、梅雨の時期で確率は30%有るかないかの中、今までで一番、美しかったらしく、素晴らしい喜寿の記念になり、興奮さめやらず。

貞方 徹(大村市) 7月1日 21:15

NAS速報No.279と会誌 第17号が 一昨日 届きました。ありがとうございます。また、皆様が、H2ロケット光跡の写真をUPして頂き、すばらしい写りで、とても感動しました。私は、自宅で目視観望と携帯撮影はしたのですが、ほとんど写らず・・・目視でだけは確認できました。ただ、もう少し、種子島の自宅からの方位を調べ、望遠鏡をその方向に設置するなど、もう少し丁寧に準備しとけば良かったと 悔やんでおります。また、すこし前ですが、6/18に撮影したM16の写真を添付します。

2025年6月18日22:05-23:35(3分×30枚) 計90分
ステライメージ10でコンポジット

ED103S+フラッター、SXD2、カメラ：ASI294MC Pro、
撮影ソフト：N.I.N.A



津田純子(久留米市) 7月1日 05:58

久留米にも無事に会報、NAS速報、桧山塾の記事、届いています。平日は朝7時過ぎから夜20時くらいまで仕事なので、少しずつ拝読させていただきます。速報の北斗七星と火球、会報の皆既日食のコロナ、素晴らしいの一言、また私も現地に足を運んで見たいです♪ また、山崎さま、思い出深い喜寿の旅、お疲れ様でした。歳を重ねても、いろいろなことにチャレンジできる精神力、素晴らしいですね ♪ 私も見習いたいです♪今日は久留米は38℃、佐賀は37℃の予報です。皆さまご自愛下さいね。

西岡俊文(佐世保市) 7月2日 07:15 会報と速報など昨日届きました。

石橋 桜(月の会/佐世保市) 7月2日 17:10

バタバタした中で見るのが勿体なくて、今日やっとゆっくり封を切りました。第17号会誌、今回も盛り沢山な内容でまだまだ全て読んでいないのですが、天体観測旅行から私たちの日々の暮らしのイベントまで、こんなに多岐に渡った冊子あまり無いのではないのでしょうか。2023年から2024年、世間は感染症対策に頑なになる中、私たちよく頑張りましたね！ちょっとウルッと来てしまいました。

石橋家の写真も沢山載せて頂いて、ありがとうございます。未っ子も中学生になり、家族の時間も少しずつ変化していく中で、皆様の思い出の中に我が家の足跡も残して頂いているんだなぁと思って嬉しくなりました。まだまだ皆様と共に楽しんで行きたいと思います♪ 突然の真夏日に身体が着いて行きませんが、皆様も楽しんでお過ごしください。夜空も見上げるぞ！

森本 忠明(時津町) 7月3日 11:02

NAS速報と会誌、一昨日届きました会長、パスポート戻って来て良かったですね。渡航証発行してもらいにも無くした場所によって管轄が違ったりして大変ですもんね。私も用心のため行く前にその辺、調べて行くんですが考えただけで憂鬱です。会誌に私のニュージーランドのオーロラの写真載せていただいて有難うございました。別のカメラで撮って大マゼラン雲が薄く写ったものを天文ガイドに載せてもらったのですが、撮ってきた他の写真は1年以上経つのにまだ手付かずです。現地では私設の天文台で40cmのミードのシュミカセで ω 星団を見せてもらったのですがシーイングの関係もあるのですが、星像がシュミカセ特有のぼっちゃり像で感動イマイチでした。やはり、昔自宅で使っていた25cmのニュートンで見た針で突き刺したようなM13のシャープな像が球状星団として今までで一番良かったです。

坪根 徹(長野県佐久市) 7月3日 12:22

NAS279、拝領いたしました。また会誌も郵送で届いております。ありがとうございます。あの…今更ですが、4月に事務局あてに天文カレンダーをお送りしていたのですが、無事届いていましたでしょうか。気にしてはいたものの、つい聞きそびれたままになっていました。総会も盛況だったようで何よりです。今年から会計年度職員となり、身辺がまだ落ち着いていませんが、一段落したらまた佐世保にもお邪魔したいと考えております。

田中千鶴(月の会/佐世保市) 7月3日 21:15

大変失礼致しており申し訳ございません。4月にうすだスタードーム天文カレンダーを沢山お送り頂いておりましたのにお礼を言っておりませんでした。速報発送時に証拠の写真撮影もしていながら…。九十九島せんべいにお礼状を添えてと思っていたのが間違いでした。いつも楽しみにされていた方々には、早々に渡して、喜ばれておりましたのに。

清水くに子(月の会/佐賀市) 7月4日 16:48

昨夕、会誌・NAS速報・檜山塾に学ぶ、届きました。先日から、皆さまの素晴らしいとのメールを読んで、早く観てみたいと思っていました。丁度夕食準備中でしたので、はやる心を抑えて調理していましたが、「長崎の天文協会って 凄いな～あ!!」と、夫の感動のつぶやきが聞こえました。茶の間のテーブルに置いた会誌を夫が読んでいたのです!「会誌はどれくらいの間隔で発行するのか?」「会長さんは何歳位の方か?」など質問してくるのです。「会誌は2年に1回」「会長さんは多分70歳位」と私。食事の用意が出来上がるまで、夫は会誌に釘付けになっていました。私は名前だけの会員ではありますが、ちょっと誇らしく 内心鼻高々でした(笑)

今日は機能訓練のサービスに行っていたので、未だしっかり読んでいませんが、天文のプロ集団と、活発な月の会が相まって、地域の方々をも巻き込んで …… 長崎天文協会は素晴らしいことをなさっていらっしゃるなあ - と、感動しています!!

田中千鶴(月の会/佐世保市) 7月5日 00:15

金沢の清水さんにもメール便が届き、全員に行き渡ったと確信致しております。私のスマホにも「素晴らしい内容の速報と会誌に感動です」など、天文メーリングに勇気出せないという方々からの感想が届いております。ゆっくり読まれてからで結構ですので、良いと思っていただいた方は是非感想の共有を宜しくお願い致します。

清水さんのご主人さまの「長崎の天文協会て凄いなあ」に飛び跳ねております。ご主人は、元小学校の校長先生で理科の教師と伺っておりましたので感慨深く読んで頂いた事と、より嬉しくなりました。ご主人の好物の松浦漬けを贈りたくなりました。松本会長は、辰年お生まれでご主人さまより一回りお若いとお伝え下さいませ。清水さん、どうも有難うございました。私も今回の会誌は、先輩方の天文写真満載でページをめくる度に高揚し宇宙に吸い込まれる思いにかられました。松本会長のティオティワカン遺跡前での未来ヘジャンプ！は、お見事です。まだまだ、大丈夫そうですね!!

根本友子(月の会/佐世保市) 7月5日 00:19

第17号会誌、速報、桧山塾のコピー受け取りました。お忙しい中、取り纏めから発送までありがとうございました。会誌は素敵な皆既日食の表紙に始まり、開き進めていくと次から次にあられる美しい写真の数々に目を奪われてしまいますね・・・盛りだくさんな内容で、まだ読み切れていませんが、じっくり楽しませていただこうと思っております。(リビングに置いておくと、思春期次男(高2)と長女(中3)が手にとっている姿をみかけることがあり、密かに嬉しく思っています。)

總會等いろいろな興味深いイベントにも参加したいと思いつつも、巣立ち前の子どもたちとの時間を優先させるべく足が遠のいておりますが、メーリングや速報で情報共有させていただいてることで宇宙との繋がりを感ずることができています。いつも本当にありがとうございます。月や星を眺めながら、宇宙を感じて、季節を感じて日々過ごしていきたいと思つています。

松本直弥(佐世保市) 7月5日 08:15

会誌17とNAS279は既に到着したことと思つています。みなさま到着のお知らせありがとうございます。坪根さん、カレンダーは速報発送写真にしっかり写っていますよ。

H2Aロケット打上の画像を大分天文協会から受領しています(下写真参照)。ロケット打上の次の夜6月29/30日、透明度が良く月齢も小さかったので、神崎鼻公園へ撮影に行ってきました。ただ、水平上には少しモヤがあり、写りはイマイチでした(佐世保の灯りが緑にカブる)。

藤樫 薫(長与町) 7月6日 10:20

大分からの写真を勝手に使用させていただき、3カ所からの打上画像を合成してみました。使用レンズが異なり、完全に星の位置を合わせることはできませんでしたが、大まかに3地点での見え方の違いがわかります。学術的な価値はあまりないとは思つてますが作ってみました。



大分県九重町、島原市、佐世保市から見たH2Aロケット最終号機打上 2025.6.29

西尾英一郎(西海市) 7月12日 22:41

会誌と速報は到着しています。ところで、既にご覧になった方もいらっしゃると思いますが、今年の夏は、長崎がロケ地となる映画が5本も公開され、県の広報誌7月号には、そのうちの3本が紹介されています。それ以外に天文ファンとしてのおすすめは、「この夏の星を見る」です。私は一昨日、観てきました。少しネタバレになるかもしれませんが、五島市の鬼岳天文台も舞台になっていますし、ISSも話題に出てきて、この天文メーリングの賑わいを彷彿させます。私も初めて望遠鏡で星を眺めた頃の初々しい気持ちを思い出しました。時間のある方は、是非ご観覧下さい。ちなみに今話題の映画「国宝」も原作者を含め、長崎が関係してますので、合計5本です。



川上正徳(長崎市) 7月13日 21:17

山崎さま、コメントいただきありがとうございました。西向けて見えなくて思い切って北へカメラを向けなおしたら写っていて合成でつなぎました。やはり写ってくれると嬉しいです。最近、近所に建物が増えて見通しが悪い場所となり残念です。(残念ですが画像は省略しました)

松本直弥(佐世保市) 7月17日 06:17

西尾さん、映画のご紹介ありがとうございます。私的の注目映画は「フロントライン」ですね。(あのダイヤモンドプリンセスが登場) 本日、就航前の飛鳥IIIが佐世保に入港するので、その見物がてら見に行こうかと妻と話しています。ところで、今、天文ファンが注目しそうなのが、今週から始まった「僕達はまだその星の校則を知らない」(フジ系、月曜22時から)です。主人公の弁護士が派遣された高校の校舎屋上には天文台があり、メインのストーリーとは別に、これから天文部も復活させるのか、と期待させます。高校にこんな立派な天文施設はなかろう？と思わせる天文台は、実際は「東京学芸大/土橋研究室」のもので、6mドームに40cmカセグレン/フォーク式望遠鏡が入っています。協力者には、AstroArts/星ナビの名前もありました。

田中千鶴(月の会/佐世保市) 7月23日 02:33

暑中お見舞い申し上げます。松本会長さま、素敵な暑中お見舞いレター？を有難うございました。会誌17号とジオ長崎の写真にほっこり♪会誌は、二年間の活動がびっしり、先輩方のグラビア写真にうっとりしながらこれぞ我自慢の天文協会！とにんまり。月の会のお仲間も同じだと思います。月の会の活動に参加された方々は、懐かしくも良くやった思い出された事でしょう！是非、ご感想もお聞かせ下さいませ。

さて「ジオ長崎」は、松本会長の記事からのスタートで長崎県の天文—我が国の近代天文学は長崎から始まった—の題名だけでも吸い込まれ読み進みました。18名の専門家による長崎県内の気象、大村湾、長崎県の石(ハート型の水晶！)、自然災害と地質、これからの温泉利用、地震活動、化石、岩石、鉱物、日本唯一の超高压変成岩(蛇紋岩、ヒスイ、ナノダイヤモンドも！)、対馬の若田硯も掲載(紫式部も愛用したとの云われがあり、硯製作者に案内され原石を川で入手)、益々地元愛★地球愛が増えて参ります。会員の皆さま「空海山の地球科学」(長崎県地学会編)を楽しんでみられては如何でしょうか？事務局推薦で税込1980円ですが送料込み2000円で会員宅へ郵送させていただきます♪(事務局費より捻出)

松本直弥(佐世保市) 7月23日 09:40

千鶴さん、フォローありがとうございました。今朝明るくなった東の空に、29日の細い月が見えていました(逆さ三日月とも)。明後日が新月(閏6月1日)です。

7月23日05:02 13cm屈折+NikonD810(ISO800)1/20秒露出



津田純子(久留米市) 7月23日 22:11

連日の猛暑、皆さまお変わりありませんか？大暑らし過ぎな毎日、うだるような暑さですね。

北海道の美瑛町の38℃越え、北海道にそんな暑さが続くなんてびっくりですね。インタビューを受けていらっしゃる方々が自宅にエアコンがないと話しているのがさらに驚きでした。松本さまの暑中お見舞いハガキ、松本さまの非日常が散りばめられた内容で羨ましい限り。新月間近の月も素晴らしいですね。千鶴さま、無理し過ぎではありませんか？メールの発信が真夜中だったので少し心配しています。ジオ長崎、興味深い内容で面白そうですね。高校の時に地学選択だった私は惹かれます。

田中千鶴(月の会/佐世保市) 7月23日 23:04

逆さ三日月に癒され、早朝9時から須佐神社の祇園祭の茅の輪作りにお仲間と参加(桜さん、松田さん、坂上さん)。坂上さんが、所有地から沢山のカヤを刈って運んで下さいました。町田宮司さまも此までで一番大きなカヤで茅の輪も立派なものことができましたと喜んで下さいました。月の会用に階段下にも今年から準備。新月の25日(金)、26日(土)18時半から月の友達は、スサノウのように大暴れするかも知れませんよ(笑) 津田さん、ご心配おかけして申し訳ございません。夕方後、うたた寝しており目が覚めて(笑)無理が効かない歳に。(p.4以降の、月の会メッセージ参照)

★国際宇宙ステーション情報

松本直弥(佐世保市) 7月24日 08:47

夜になっても前日の気温が下がりきらないうちに朝を迎える感じです。そんなところへのISS情報。天気だけは良さそうなので、夕涼みがてらお楽しみください。(予報は省略)

津田純子(久留米市) 7月24日 22:15

ISS、かなり低空飛行ですが、北西の空にハッキリと確認できました。ここ2、3日、久留米はあまり透明度が良くない感じの星空でしたが、今日は綺麗です。北斗七星から続く春の大曲線も、さそり座のアンタレスもキラキラ輝いています。これで、民家や街灯の灯りが無かったら・・・と残念に思うばかりです。

山崎良子(月の会/佐賀市) 7月25日 21:18 今日はしっかり見えています。

松本直弥(佐世保市) 7月27日 08:41

津田さん、山崎さん、ISS見たよ報告ありがとうございました。この二日、我が家からは方向が悪くて撮影はせず、見ただけでした。本日21:18前後と、明晩20:30前後はなかなかの好条件です。是非トライして下さいませ。昨夕は二日月が見えたのですが、西空の雲がなかなか退かず、雲の下から姿を現すのを待っていたら、高度が低くへ口へ口の画像となりました。

津田純子(久留米市) 7月27日 21:29

久留米も21時16分頃、西北西から西より付近から見え始め、天頂手前で見えなくなりましたが、かなり明るく見つけやすかったです。昨日、一昨日より移動スピードが速い感じでした。大西さん、いよいよ最後のお勤めですね。8月からは油井さんが引き継いで頑張ってくれるでしょうね。

松本直弥(佐世保市) 7月28日 06:28

山崎さん、津田さんご報告ありがとうございました。川上さんも花火の写真ありがとうございました。昨夜の宇宙ステーション通過画像を添付します。(画像は省略)

南西海上にある台風の影響などにより、先週末から九州では東寄りの風が吹いています。長崎はフェーン現象のため日中は高温になりますが、風は乾いていて空気中の水分が少なくなり、大気の透明度がとても高くなっています。昨夜は低高度(高度 2° くらい)からISSが視認できました。アークトゥールスのすぐ上で地球の影に入り見えなくなりました。佐世保市内の我が家でも天ノ川が見えます。

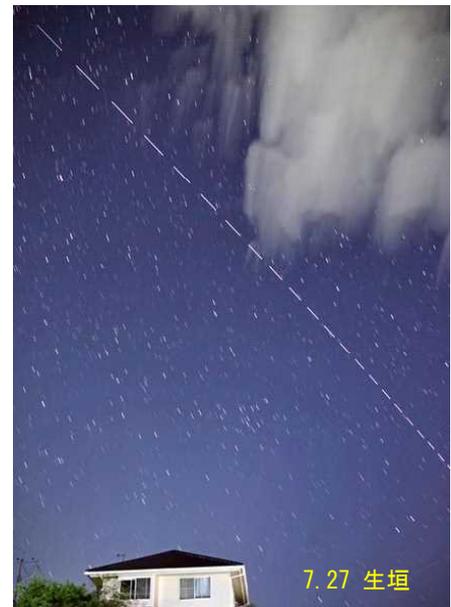
生垣純昌(長与町) 7月28日 08:25

近くの公園で撮影したISSの通過画像です。夜空は雲が点在していましたが、隠れることなく撮影できました。

7月27日21:16-18 3秒間隔の3露出の比較明合成 EOS6D→

山崎良子(月の会/佐賀市) 7月28日09:46

花火にISS通過軌道に満天の星、三日月に天の川、ありがとうございます。夜空の写真は心の中まで涼しくなりますね。皆様本当にありがとうございます。近頃は風があるので、テラスの水琴窟の音の風鈴が綺麗な音を奏でています。



松本直弥(佐世保市) 7月29日 07:52

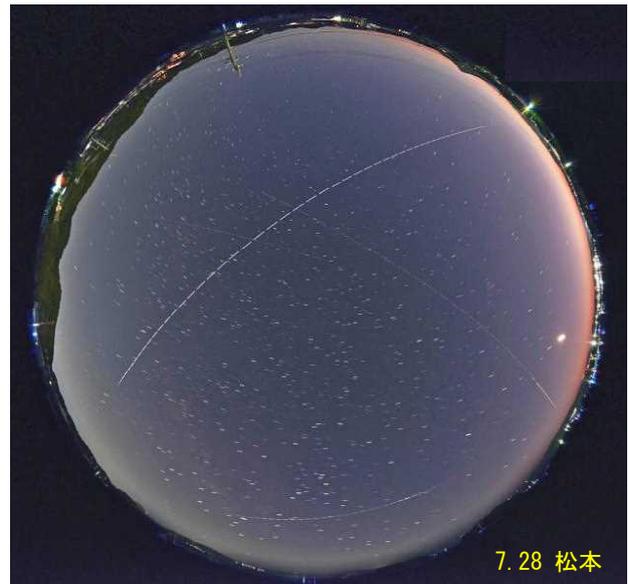
山崎さん、津田さん、いつもご報告ありがとうございます。千鶴さんお疲れさまでした。明け方の空にはオリオン座が姿を現わすようになっています。暗いうちは爽やかでしたが・・

さて、昨夕の国際宇宙ステーションは高く昇り見応えがありましたね。久しぶりに屋根へ登って魚眼レンズで撮影した画像を添付します。

2025年7月28日20:26:53~20:31:45

8mm+NikonD810A (IS03200)

5秒おきに4秒露出した56コマを比較明合成 →



藤樫 薫(長与町) 7月29日 10:40

昨日、ISSの強拡大に挑戦しました。露出オーバー！ピント微妙！なお、手動追尾。皆様にお見せできる画像ではないのです、画像をあまり広げないで見ていただくと嬉しいです。

2025. 7. 28 20:30 長与港埋立地にて撮影 →
μ 210 f=2415mm×1.5 Canon EOS-Ra 露出1/1000秒 ISO12800



山崎良子(月の会/佐賀市) 7月29日10:49

宇宙ステーションってあんな形をしているのですね！新聞などでは見たことあるみたいですが、天文メールでは初めて見たのではないかとちょっと感激です！

橋 貞幸(長崎市) 7月30日 21:12

今夜のISSは、我が家からは長い時間楽しむことができました(*^_^*) 現在搭乗している大西卓哉さんは、日本人の船長としては3人目となる大役を見事に果たして、8月に帰還されるそうですね。帰還に使用するロケットが順調に飛行して、無事に帰ってくることを、心から願っています。

田中千鶴(月の会/佐世保市) 7月30日 22:41

橋さん、大西さんの情報も有難うございました。我が家からも長い時間楽しむ事が出来ました！今夜は、夫とギャング孫3人も。最初に見付けた夫は、ご機嫌良く孫達に方向を指差し楽しんでおりました。孫達も「見つけた！お月さまの横を通ってる！赤いピカピカ光ってるのは飛行機だね」と。見ると幸せな気分になれますね♪ 松本会長の魚眼レンズ撮影は圧巻！その写真に藤樫さんのISSが合成されるとお見事でしょうね。

津田純子(久留米市) 7月31日 00:48

毎日、いろんな情報、素晴らしい写真をありがとうございます。今日も西南西から見え始めて、月のやや上の方を通過して、さそり座へとかなり長く見えました。見え始めの高度予報が低かったので、期待をせずに観ていたら、何の中々見応えがありました。同じISSが好天に恵まれて、毎日いろいろな方角から、いろいろな表情で観る事が出来て、今回はかなり楽しめました。千鶴さま、ご主人、お孫さんとの癒やしの時間、素敵ですね！ウチは孫がないので、羨ましいです。

魚眼レンズでの全天写真も素晴らしいです。その前日の天の川銀河にもウツリ、自宅から近い場所からあんなに素晴らしい写真が撮れるなんて羨ましい限りです。また富樫さまのISSの拡大写真、自分で撮れるなんて驚きです。見納め？かもしれない大西さんの搭乗したISS、橋さまのいう通り、大役を務められた大西さんに油井さんに引き継いで無事のご帰還、切に祈るばかりですね。

山崎さま、私も負けてはいませんが、連日連夜のISSの追っかけ！そのバイタリティ、素晴らしいです。私も今回は主人に呆れられながらも、時間になったら外に出て・・の繰り返しでした。先週から今日まで夕涼み？がてら楽しむことができて良かったです。

追伸 今日ではなく日付が変わりましたが、朝からカムチャッカ半島の地震で、津波情報に終始した一日でしたね。被害に遭われた方々の心はいかばかりかと、胸がいたくなります。今回のように長く津波警報や注意報が出ることもあるなんてびっくり!!でした。仕事の合間にスマホを見て、また仕事、の繰り返しでした。被災された方々が、一日も早く日常生活に戻れるよう祈っています。今日も久留米や佐賀は40℃予報です。佐世保や長崎を含め熱中症警戒アラートが出されそうですね。皆さま、ご自愛くださいませ。

松本直弥(佐世保市) 8月8日 09:32

昨日は二十四節気の立秋でした。今年は例年に比べてかなり早く秋雨前線が九州まで南下し、佐世保では前線の北側になったためか、今朝は少しヒンヤリします。現在、南九州では大雨の特別警報が出されていますが、明日・明後日は前線が九州北部へ北上する気配です。ご注意ください。半月前、7月25日の新月の後は晴れが続きました。月の変化を連続写真にしてみました。



月の位相変化2025. 7. 26-8. 1 13cm屈折+NikonD810 松本天文台

橋 貞幸(長崎市) 8月9日 09:36

月の変化の写真は理科の教材として授業に使える素晴らしい写真ですね(^_^)v 長崎市は今朝が寒くて5時頃に、目が覚めてしまいました(>_<)今朝は8時過ぎから激しい雨脚で、被爆80年の平和祈念式典はテント内ではずぶ濡れになりそうです。私は午後真宗の非核非戦の法要へ出かけることにしています。

★ペルセウス座流星群

田中千鶴(月の会/佐世保市) 8月12日 23:17

夕飯後、夜空を見上げると雲が広がっていて今夜もペルセウス座流星群は無理かとあきらめていた所に、21時過ぎに絵美より「流れてるよ！」とのメール受信。急いで屋上へ。敷物の上に転がっている孫の中に仲間入り。

9時33分長いのが流れ叫ぶ！2分後に短いのが流れる♪ 隣に住む長女が小5、中1の孫を連れて来てまたゴロゴロと仲間入り(笑) 絵美先生の星座のお勉強が始まる。その後22時迄に3個、10分迄に3個。それから半迄に2個。静かになったと思っていたら流れ星に「おむついらぬいよ」(おむつが外れますようにとのお願い)と叫んでいたセナ(2歳半)が眠りについていました。サク(5歳)は、「恐竜！(に会いたい)」。長男スバル(小1)は「いつまでも家族と一緒にいたい！」と、叫び絵美を喜ばせていました。長女の子供も達は、覚えていた星座を言い合いながら流れ星に「犬」「イヌ」と叫び、餓うのをためらう長女がそのたびに「止めて！」と叫び笑わせてくれました。約1時間に10個(私は、8個)は、賑やかさも加わり満足でした！明日のお盆の準備もあり下山？。



田中家のPer流星群観察 8.12

23:50 ゴロゴロ(先頭が絵美)の写真を送信しますので、想像して夢でゴロゴロのお仲間入りして下さいませ(笑)

津田純子(久留米市) 8月12日 23:37

千鶴さま、恵美さま、家族でのペルセウス流星群観望、素敵ですね。久留米は、かなり薄雲が広がっていて、21時半過ぎにベガの下辺りに流れたのだけ、確認しました。23時20分はほぼ雲り。かろうじて月は傘を被った朧月。13日未明が極大なのにとすると残念な限り。もう今日は難しいかなあとため息ついています。00:12 写真、ありがとうございます、和やかな様子が、伝わって来ました。今日はあの中に混じって空を眺めたつもりで、床につきます。40年以上前ですが、高校生の頃、顧問の先生の自宅に泊まり込み、庭に気象部の仲間達と寝そべって空を見上げ、ペルセウス座流星群のFM電波観測をした事を思い出しました。残念ながら気象部は私が卒業した10年くらい後に、部員が集まらず廃部になりました。



松本直弥(佐世保市) 8月13日 18:03

田中家での流星観察の様子にほっこりしました。ペルセ群極大の今朝、自宅で流星群の写真を撮るつもりでしたが、雲がかなり多く雨もパラパラしてしまっていたので諦めました。今の天気だと、今夜は期待できそうです。それから、夜明け前の東の空で、金星と木星が接近しています。最も近づいたのは12日から13日でしたが、明日の朝も十分近いです。04時頃、東の空に注目してください。(東にビルや山があると見えないかも知れません)

水田 孝(佐世保市) 8月14日 19:37

ペルセ群の報告です。14日午前0時~2時、佐世保市展海峰展望台で撮影しました。大きい流星ではありませんが2個写りました。ひとつだけ添付します(右写真)。結構大きな流星も見たのですが残念ながら写野外。月明かりのおかげで九十九島の島々はよく撮れました。例年展望台には撮影中に何人かの方が見えて、流星撮ってますとか話をするのですが、今回はどなたも来られませんでした。



橋 貞幸(長崎市) 8月14日 21:34

長崎市かきどまり陸上競技場の駐車場で13日22時から23時30分まで空を見ていましたが、飛行機が飛ぶばかりで流星は一つも見えませんでした。明け方は5時に金星と木星が接近して見える様子を眺めました。きれいでした(^_^)v

津田純子(久留米市) 8月14日 22:42

昨夜は22時~、24時~、今日は4時~と3回チャレンジしました。22時~の50分程のうち、22時半過ぎの1個だけが1等級の明るさ、後の6個は2等級以下の暗いものでした。24時~は月の影響か全然見つからず、、、明け方 4時すぎからの50分程は薄明もあり、あまり見つけられず、3個程短い軌跡の暗い流星が見えました。4時過ぎに起きることができたので、東の空に昇った金星と木星を堪能できました。

田中千鶴(月の会/佐世保市) 8月15日 00:30

ペルセウス座流星群は、13日は、一人で観察。前日同様、21時半に枕持参で屋上へ。寝転がって直ぐの31分になんと3個同時!? シューシューシューもう目が点に! 後のニュースで「流星群クラス

ター現象(何十個も同時に)」と、いわれ宇宙のチリが地球の近くで分裂して大気に飛び込んだ際に見られる現象でペルセウス座流星群では始めてと、お懐かしい国立天文台の渡部潤一上席教授の説明でした。もし、それでしたら、いえそれにしておこうと(笑) その後44分、57分、22時4分、7分、20分の合計8個で切り上げました。本日も、もしかしてと21時半に屋上へ。また直ぐにスーとちょっとだけ長いのが流れ、その後は段々状況が悪くなりカシオペアが見ずらくなり終了に。「また、来年ね。ごきげんよう」との最後の流星だったかもと納得。

松本直弥(佐世保市) 8月15日08:58
左:金星と木星の接近8.14 04:26
105mm+NikonD810A(ISO3200)露出4秒
右:ペルセウス座流星群8.1402:32:56
5mm+NikonD810A(ISO3200)露出8秒
いずれもトリミング

→

昨日の昼と夜のニュースに「流星クラスター」現象が時間をとって紹介されていましたね。8月12日の01時頃で場所は北日本とのことですから、位置



8.15 金星と木星の接近

8.14ペルセウス座流星群

が遠く天候も悪かったので九州での観測は難しかったのではと想像します。なお、従来から「豆まき現象」と言って、豆を蒔くように短時間に連続して流星が流れることは知られていました。今回は、地球のほんの近傍で、流星体が分裂したものと推定されます。昨日の朝撮影した中に火球クラスの明るい流星が1個写っていました。月が明るいので露出を短くしたら、枚数が1000枚以上になり、チェックに時間がかかりました。(前頁)

川上正徳(長崎市) 8月17日 00:49

昨日バスで帰宅する途中、さそり座の方を25秒で写真を撮ってみましたら、偶然、流星が写っていました。

2025.08.16 20:29 18mm F4.5+Canon Eo R50(ISO800) →

★8月19日 大火球出現

松本直弥(佐世保市) 8月20日 08:16

今朝は東空の金星・木星に月齢26.0の細い月が接近しました。

3:30から待機していたものの、なかなか雲がとれず、雲が切れて3星が見えだしたのは4:30近くでした。明朝はさらに月が細くなります。ところで昨夜23:08ころ南九州から四国にかけて火球が出現したと、ニュースで再三紹介されています。森山さんのパトロールにはかかっていませんか？



8.16ペルセウス座流星群

森山雅行(佐世保市) 8月20日 16:39

松本会長に呼ばれて出てきました。とりあえず昨晚の火球の動画のみ添付します。

水田 孝(佐世保市) 8月20日 19:07

すごい迫力です。びっくり。ありがとうございました。

松本直弥(佐世保市) 8月20日 19:36

すさまじい明るさ、「火球」どころでは無いです。本県でもTVでドラレコなどの画像が紹介され、なかなか大きなニュースになっていますね。各地の画像を見たところでは2013年ロシアのチェリャビンスク隕石に良く似ています。この隕石は直径が17mだったとされており、今回も10mクラスだったのかも知れません。火球の高度がかなり低く、方向的に落下したとしても太平洋だと推定されます。隕石落下に伴う衝撃波が観測されていないようなので、かなり遠かったのか？ 地震計に記録が無かったかちょっと気になります。森山さんの動画から静止画に切り出してみました(p.3)。

津田純子(久留米市) 8月19日 9:47

火球の動画、ありがとうございました。周りが一瞬、朝かと思うぐらい明るくなっていますねー。すごいですね。今日は朝のニュースは、NHKも民放もこの火球の話題で持ちきりでしたが、今さっき、夕方のニュースを見たら、まだまだこの話題、火球の凄さが伝わりました。私もいつか巡り会えたらいいなあと思いました。

橋 貞幸(長崎市) 8月20日 20:48

森山さん、しっかり撮影できていたんですね。素晴らしいです。大きな大きな火球でしたね。あまりに明るいので画面が白く飛びました！！(^_^;) 画面の左端に射手座が見えますから、流れた方角がよくわかります。陸上に落下して、隕石になっていたら、天文ファンとしてはもっと良かったのに、その点が残念でした。

山崎良子(月の会/佐賀市) 8月21日07:25

今朝起きたら天文メール8もあり、慌てて読んでいます。ラジオでも火球のことを何度も言っていました。森山さんの動画、松本会長の静止画像を見てびっくりでした！思わず、体を引きそうになりました。隕石として見れたら、天文ファンとしては嬉しいとありましたが、家や人に落ちたら!!と怖くも感じる自然現象ですよ！朝から目が覚めました

田中千鶴(月の会/佐世保市) 8月24日 00:50

本日は、文月の新月の日で恒例行事の月活を島瀬美術館にあるcafe Jilbe(坂上さん経営)で月の友10名で開催。新入会者で初参加のお名前が田中明美さん(写真中央手前) 月活の中心人物の私と河野さんの合体お名前(笑)！なんと松本会長とは45年前に地域の観望会で出会ってらして、今でもちょこちょこ少年科学館に足を運ばれてるそうで、本日も先日の話題「火球」の新聞切り抜きをご持参下さり感激しました！我々が学べる事多しと楽しみが増えた感動の新月会でした♪

次回9月22日(月)10時半～正午の月活もこの場所で開催する事になりました。先輩方も美味しいコーヒーご一緒されませんか、大歓迎でお待ち致しております。(参加費無料、飲み物の実費のみ)
※写真左から夫津木、千鶴、藤澤、中倉、河野、緒方、豊島、久松、宮崎 (敬称略)



月の会の行事 (事前の予約をお願いします/お友達の参加も歓迎です)

★9月22日(月)10時半～正午 「新月・月活」島瀬美術館カフェ jilbe

★10月4日(土)15時～18時 清水地区コミュニティセンター(少年科学館)

中秋の名月行事食作りと会食会 参加費1,000円

※その後、少年科学館での天体観望会へ参加希望の方は、各自で予約をお願いします

★10月21日(火)10時半～正午「新月・月活」島美カフェ jilbe

★11月3日(月)させぼおくんち和装行列参加

★佐世保市少年科学館の天体観望会 (要予約 ☎0956-23-1517)

9月6日(土)19:30(月齢14.2) 月・夏の星座を見よう

10月4日(土)18:30(月齢12.6) 月・土星・夏・秋の星座を見よう

観覧料:高校生以上320円、小・中学生150円、各回の2週間前から予約開始します。

★長崎県民の森天文台の天体観望会 (長崎市外海町、☎0959-24-0181)

毎週土曜開催、予約不要、天候が悪い場合は中止。実施の確認は上記電話へ。

詳しくは県民の森ホームページ→<http://www.suisan.n-nourin.jp/oh/kenmin/top.html>

※ 参加される場合はそれぞれの施設へ直接お尋ねください。

★会費受領(一般会員 8月25日現在/敬称略・受領順) 千住憲裕、川上正徳、島田和典、江添郷子、西尾英一郎 (月の会)松尾松子 まだ、会費未納の方が数名おられます。早急に納入してください。

・総会議決参加者(委任状による議決参加者)に松田哲宗さんが漏れていました。計56名です。

★編集後記

前号発行からの2ヶ月間には、H2Aロケット最終号機打上(久しぶりの夜間打上)、条件の良い国際宇宙ステーション通過、ペルセウス座流星群、九州近海での大火球出現と、様々な話題に会員のコメントが寄せられ、豊富な内容となりました。暑さにめげず頑張った、と言いたいところですが、厳しい暑さはまだまだ続きそうです。体調の維持にくれぐれも気をつけましょう。

来月早々、9月8日早朝には2025年の目玉とも言うべき皆既月食が起こります。本影開始01:27、皆既始め02:31、食の最大03:12、皆既終了03:12、本影終了04:56と、深夜から明け方にかけての観察しにくい時間帯ですが、時間が許す方は赤い月を楽しんでください。来年2026年3月3日には見やすい夕方に皆既月食が起こります。(松本)

特定非営利活動法人 長崎県天文協会

事務局:結夢観月館 (〒857-0801 佐世保市祇園町11-18 電話0956-80-1620)

E-mail: yumemizuki99@iwa.bbiq.jp ホームページ: http://www7b.biglobe.ne.jp/~nagasaki_tenmon/

速報編集者:松本直弥 Tel0956-28-4384 E-mail: planetm@sat.bbiq.jp

会費払込口座:十八親和銀行・住吉支店=口座番号219792(普通)(松本直弥)

ゆうちょ銀行=記号17680/番号19913131(特定非営利活動法人長崎県天文協会)

・他金融機関から 店名七六八 店番768 番号1991313

★(月の会会員) ゆうちょ銀行 記号17670番号09245101

・他金融機関 店名七六八 店番768 番号0924510